

都市基盤整備部会

平成 23 年 10 月 7 日（金）第 4 回 名寄市総合計画策定審議会専門部会（総務部会）

1 部会の開催状況について

平成 23 年 2 月 21 日（月） 第 1 回 都市基盤整備部会

- (1) 正・副部会長の選出について
- (2) 部会審議事項の確認について
- (3) 前期計画の実績と課題(概要)について

平成 23 年 3 月 28 日（月） 第 2 回 都市基盤整備部会

- (1) 前期基本計画及び実施計画の点検及び情勢等の変化に伴う課題について

平成 23 年 4 月 6 日（水） 第 3 回 都市基盤整備部会

- (1) 前期基本計画及び実施計画の点検及び情勢等の変化に伴う課題について

平成 23 年 5 月 27 日（金） 第 4 回 都市基盤整備部会

- (1) 後期計画（素案）について

平成 23 年 9 月 29 日（木） 第 5 回 都市基盤整備部会

- (1) 基本計画素案及び個別事業について

2 主要施策について

Ⅲ 自然と環境に優しく快適で安全なまちづくり

- 4 防災対策の充実・・・・・・・・・・ P 1～ 2
（総務部）（建設水道部）
- 8 住宅の整備・・・・・・・・・・ P 3～ 4
（建設水道部）
- 9 都市環境の整備・・・・・・・・・・ P 5～ 7
（建設水道部）
- 10 上水道・簡易水道の整備・・・・・・・・ P 8～ 9
（建設水道部）
- 11 下水道・個別排水の整備・・・・・・・・ P10～11
（建設水道部）
- 12 道路の整備・・・・・・・・・・ P12～15
（建設水道部）
- 14 雪を活かし雪に強いまちづくりの推進・・・ P16～17
（建設水道部）

3 個別事業について・・・・・・・・・・ P18～19

新規事業	18 本
継続事業	33 本
先送事業	9 本
後期事業	0 本
合計	60 本

【前期計画】

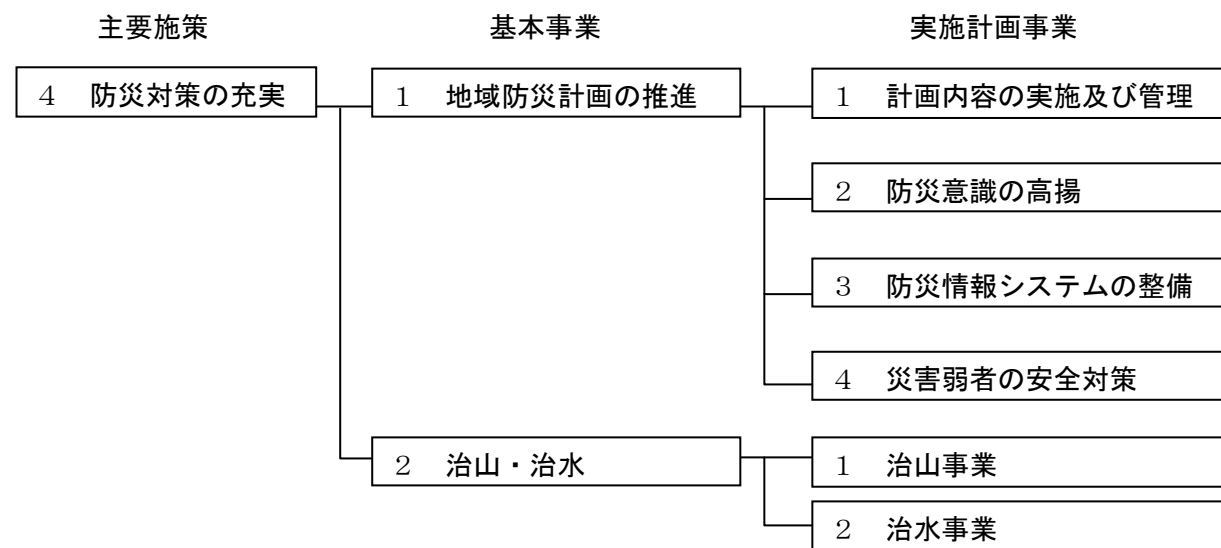
〔現状と課題〕

- ◆本市では近年、大規模な洪水は発生していませんが、短時間集中豪雨型の局所的な大雨被害や台風や低気圧による強風被害が増える傾向にあります。
- ◆市内での地震の発生は極めて少なく、地震による被害はこれまで皆無と言えますが、全国的には大規模地震が多発する傾向にあり、災害への備えと市民の防災意識の高揚が求められます。
- ◆災害から地域を守り、安全で安心なまちづくりに向けて、気象情報など必要な防災情報を迅速に入手して市民に知らせる情報伝達システムの整備や防災訓練の継続的实施、災害弱者の安全な避難対策など、きめ細かな防災対策を講じていかなければなりません。
- ◆山林では伐採や農地の開墾などによる荒廃状態の箇所が見受けられることから、山地の保水力を高めるために緑化を進めなければなりません。
- ◆洪水防止のために護岸工事や樋門へのポンプ場設置などの河川整備が行われてきましたが、ダムや護岸、築堤等の整備、河道の掘削など、さらなる整備が求められています。

〔施策の基本的な考え方〕

- ◆防災対策の充実に向けた具体的な取り組みは、名寄市地域防災計画に盛り込まれた内容を着実に実施していくことが基本になることから、計画内容の進行管理を適切に行う中で効果的・計画的な防災対策を実施していきます。
- ◆荒廃状態にある山地の造林を推進するとともに、河川整備を継続的に実施し、洪水による被害を未然に防ぎます。

〔施策の体系〕



【後期計画】

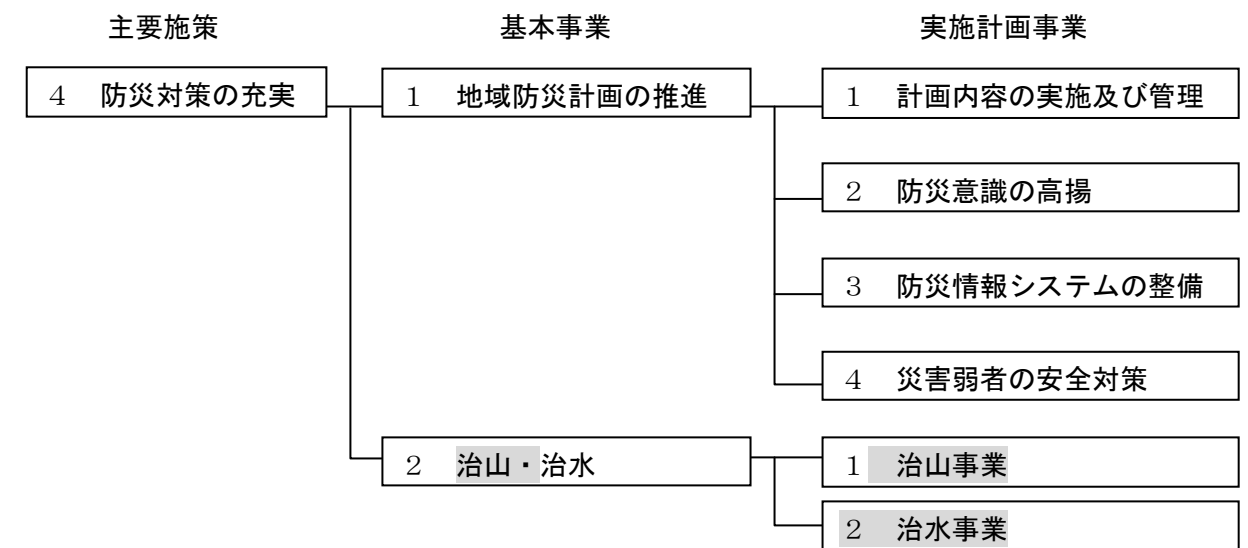
〔現状と課題〕

- ◆本市では近年、大規模な洪水は発生していませんが、短時間集中豪雨型の局所的な大雨被害（平成22年7月では避難勧告を発令した。）や台風や低気圧による強風被害が増える傾向にあります。
- ◆市内での地震の発生は極めて少なく、地震による被害はこれまで皆無と言えますが、全国的には大規模地震（東日本大震災他）が多発する傾向にあり、災害への備えと市民の防災意識の高揚が求められます。
- ◆災害から地域を守り、安全で安心なまちづくりに向けて、気象情報など必要な防災情報を迅速に入手して市民に知らせる情報伝達システムの整備や防災訓練の継続的实施、災害弱者の安全な避難対策など、きめ細かな防災対策を講じていかなければなりません。
- ◆治水事業は、洪水防止のために護岸工事等の河川整備を行ってきましたが、護岸や堤防の整備、川の中にたまった土砂の掘削など、さらなる整備が求められています。

〔施策の基本的な考え方〕

- ◆防災対策の充実に向けた具体的な取り組みは、名寄市地域防災計画に盛り込まれた内容を着実に実施していくことが基本になることから、計画内容の進行管理を適切に行う中で効果的・計画的な防災対策を実施していきます。
- ◆急傾斜地の崩壊や土石流、地滑りに対しては、住民等の生命や身体に危害が生ずる恐れがあると認められる地域に、危険の周知、警戒避難体制の整備を行います。
- ◆治水事業は、河川整備を継続的に実施し、洪水による被害を未然に防ぎます。

〔施策の体系〕



【 前 期 計 画 】

〔基本事業〕

1 地域防災計画の推進

◎名寄市地域防災計画に基づき、市民の防災意識の高揚、防災情報システムの整備、防災訓練の継続的实施、災害弱者の安全な避難対策などの取り組みを推進し、全市的な防災態勢の充実を図ります。

2 治山・治水

◎造林の推進により荒廃状態にある山地の保水力を高めるとともに、砂防事業による治山を推進します。
また、河川における危険箇所の掌握と定期的な観測・点検を行うとともに、国・道とも連携し護岸、築堤などの整備やサンルダムの建設を推進します。

◎また、市民の理解と協力を得ながら河川愛護事業の取り組みを推進し、河川の環境保全に努めます。

〔主な計画事業〕

<前期>

- 豊栄川改修事業

<前期・後期>

- 普通河川維持事業（立木伐採、堆積土砂除去）

<後期>

- 同報系防災無線整備事業
- 防災行政無線のデジタル化事業

【 後 期 計 画 】

〔基本事業〕

1 地域防災計画の推進

◎名寄市地域防災計画に基づき、市民の防災意識の高揚、防災情報システムの整備、防災訓練の継続的实施、災害弱者の安全な避難対策などの取り組みを推進し、全市的な防災態勢の充実を図ります。

2 治水

◎河川における危険箇所は、定期的な観測・点検を行うとともに、国・道とも連携し護岸、堤防などの整備やサンルダムの建設を推進します。

◎普通河川にあつては、市民の理解と協力を得ながら河川愛護事業の取り組みを推進し、河川の環境保全に努めます。

〔主な計画事業〕

- 豊栄川改修事業（北海道の事業）

- 普通河川維持事業（立木伐採、堆積土砂除去）

- 真狩川整備事業（国の事業）
- 防災情報システムの整備事業

【前期計画】

〔現状と課題〕

- ◆人口減少、少子高齢化、世帯規模の縮小化が進行しており、さらには風連地区と名寄地区の異なる産業構造や1次産業の衰退等、時代背景や市民ニーズに対応した住宅施策の整備が求められています。
- ◆風連地区と名寄地区の住宅供給構造に差異があるため、公平な住宅サービスを提供しなくてはなりません。
- ◆公営借家に居住する高齢者が増えており、自立した生活を支援するために地域コミュニティの形成が求められています。

公営住宅の戸数 (戸)

区分	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
市営住宅(名寄)	799	750	741	705	694
(風連)	373	373	363	357	351
道営住宅(名寄)	147	147	147	147	147
合計	1,319	1,270	1,251	1,209	1,192
一般	1,176	1,127	1,112	1,078	1,065
特定目的	143	143	139	131	127

〔施策の基本的な考え方〕

- ◆少子高齢化に対応した居住環境の整備を推進します。
- ◆既存住宅ストックの活用を図るとともに、借家の安定確保対策等に取り組みます。
- ◆風連地区と名寄地区のまちのあり方と役割を検討し、各種住宅施策に活かします。
- ◆農村人口が減少していることから、豊かな自然を活かした農村居住の推進による定住を促進し、並びに市民農園等による交流施策に取り組みます。
- ◆都市のコンパクト化並びにまちなか居住を推進します。
- ◆時代の背景に対応した新たな住宅計画を策定し、住宅環境の整備を促進します。

【後期計画】

〔現状と課題〕

- ◆公営住宅は市全体が人口減少や少子高齢化のため世帯規模が縮小しており、時代背景や市民ニーズに対応した整備が求められています。
- ◆公営住宅を維持管理していく上では、団地ごとに必要とされる整備方法が違うことからバランスのとれた住宅サービスの提供が求められています。
- ◆公営住宅に居住する高齢者の割合が増えており、自立した生活を支援するために地域コミュニティの形成が求められています。

公営住宅の戸数 (戸)

年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
市営住宅	1,001	991	995	989	981

※各年度の4月1日現在の管理戸数を示す

公営住宅整備予定戸数 (戸)

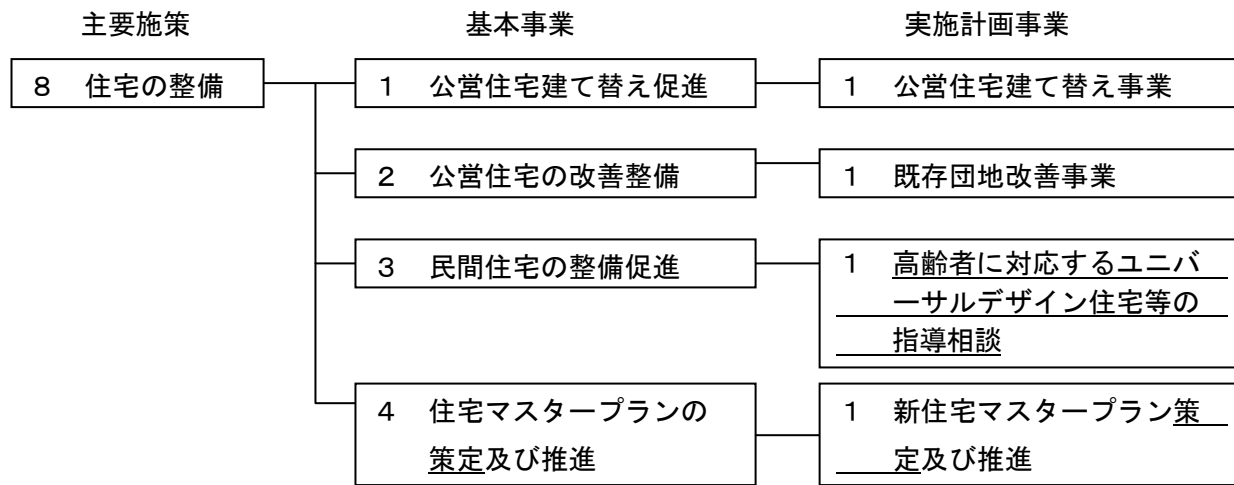
団地名	整備内容	平成24～28年
北斗団地	建設事業	5棟56戸
新北斗団地	全面的改善事業	9棟36戸
ノースタウンなよろ	長寿命化型改善事業	4棟90戸
風舞団地	長寿命化型改善事業	6棟48戸

〔施策の基本的な考え方〕

- ◆少子高齢化に対応した居住環境の整備を推進します。
- ◆公営住宅等長寿命化計画に基づき既存住宅ストックの有効活用と安定供給を図ります。
- ◆時代背景に対応した住宅マスタープランの見直しを行い適正な公営住宅の供給を促進します。
- ◆官民共同によるまちなか居住(借上・買取公営住宅)の推進及び住宅セーフティネットの構築を図ります。
注)住宅セーフティネットとは
官民間わず所得、家族構成、身体状況等に適した住宅を確保できるような仕組みのこと。

【前期計画】

〔施策の体系〕



〔基本事業〕

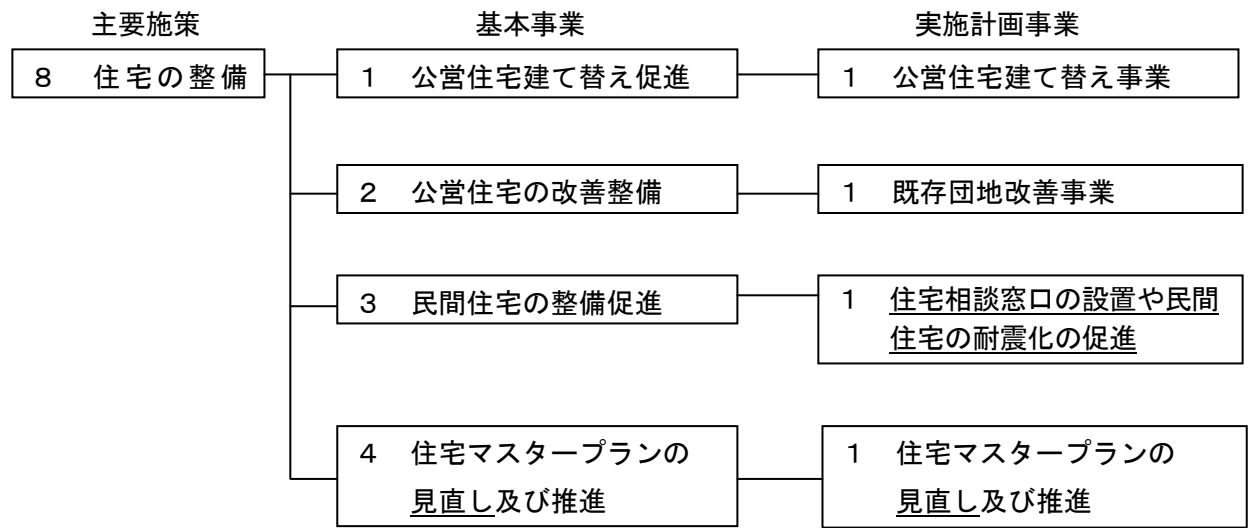
- 1 公営住宅建て替え促進
◎老朽化した公営住宅を建て替えることにより居住水準の向上を図ります。
- 2 公営住宅の改善整備
◎既存公営住宅の適正な維持保全のため、計画的に修繕を実施します。
- 3 民間住宅の整備促進
◎高齢化社会に対応した住まいづくりを推進するため、ユニバーサルデザイン住宅の普及に努めます。
- 4 住宅マスタープランの策定及び推進
◎新名寄市に対応した新たな住宅マスタープランを策定し、住宅政策を推進します。

〔主な計画事業〕

- ＜前期＞
- 西町団地建替事業
- ＜前期・後期＞
- 北斗団地建替事業
 - 南団地（仮称）建設事業
 - 新北斗団地ストック改善事業
 - 瑞生団地建替関連事業
 - 既存公営住宅改善事業
 - 高齢者等に対応するユニバーサルデザイン住宅等の指導相談業務の充実
 - 新住宅マスタープランの策定

【後期計画】

〔施策の体系〕



〔基本事業〕

- 1 公営住宅建て替え促進
◎老朽化した公営住宅を建替えることにより居住水準の向上を図ります。
- 2 公営住宅の改善整備
◎公営住宅等長寿命化計画に基づき既存公営住宅の適正な維持保全のため、計画的な修繕や改善を実施します。
- 3 民間住宅の整備促進
◎住宅相談窓口の設置や民間住宅の耐震化を促進します。
- 4 住宅マスタープランの見直し及び推進
◎住宅マスタープランの見直し作業を行い、今後の住宅政策に反映させます。

〔主な計画事業〕

- 北斗団地建替事業
- 新北斗団地ストック改善事業
- 瑞生団地建替関連事業
- 既設公営住宅改善事業
- 住宅マスタープランの見直し及び推進
- 住宅相談窓口の設置や民間住宅の耐震化の促進

【前期計画】

〔現状と課題〕

- ◆風連地区と名寄地区は、双方で都市計画を策定してまちづくりに取り組んできました。市街地区は産業構造の違いから、それぞれにおいて独自の市街地形成となっています。
- ◆市街地中心部への公共施設及び都市施設の再配置、さらには高齢者、消費者、生活者にやさしくうまいのある市街地形成が求められています。さらに、将来人口・社会環境を考慮し、市街地中心部における土地の高度利用や都市生活環境の質的な向上などを考慮した都市計画の策定が急務となっています。
- ◆市街地の緑化については、公園・広場が少なく緑が少ない状況にあります。道路においては落ち葉処理などの問題もあり植栽の可否や樹種の選定など賛否が分かれています。
- ◆良好な景観づくりに欠かせない街並み整備については、駅前通など4路線でセミモール化が実施となりましたが、街並みデザインでは歴史的な環境が少なく、地域的な整備対象となりづらいものがあります。
- ◆国道・道道には公共施設の案内標識が設置されていますが、市道の案内標識は少ない状況にあります。
- ◆住宅地が拡大していることから、交通安全上及び防犯上、必要な箇所に街灯を設置する必要があります。
- ◆人口の減少、少子高齢化、モータリゼーションの進展により、大型店への購買力の流失や集客力の低下から中心市街地の空洞化が進み、中心市街地が衰退している状況にあります。このような状況により、商店街自らが地区内に居住したり、新たに住む人々を増加させるなど、地域住民が定住できる快適な住環境整備が大きな課題となっています。
- ◆本市の都市公園等面積は、概ね全道水準を確保していますが、経年劣化による老朽化が見受けられます。また、公園の維持管理は、指定管理者制度や委託契約にて実施しており、街区公園の維持においては町内会等の協力が不可欠な状況となっています。

〔施策の基本的な考え方〕

- ◆少子高齢化・中心市街地地区の空洞化のほか、住宅・商業地区・工業地区・公共施設などの配置など総合的に検討するとともに、生活者を中心とした快適な都市計画を樹立します。
- ◆高齢化社会に対応した、やすらぎとうまいのある魅力的な景観づくりを推進し、市民との協働によるまち並みづくりを進めます。
- ◆商業拠点地区の形成を基本として、複合交流街区の誘導を図るとともに、中心市街地にふさわしいまち並み形成と、周辺の景観・環境にあった施設計画を実施します。また、商業、健康の管理と増進、文化、交流、居住などの多様な機能を集積し、中心性や求心性の高い施設計画を行います。
- ◆既設公園施設の計画的な再整備を行います。維持管理については、民間企業や社会福祉事業団体への委託を促進するとともに、町内会等との協働を推進します。

【後期計画】

〔現状と課題〕

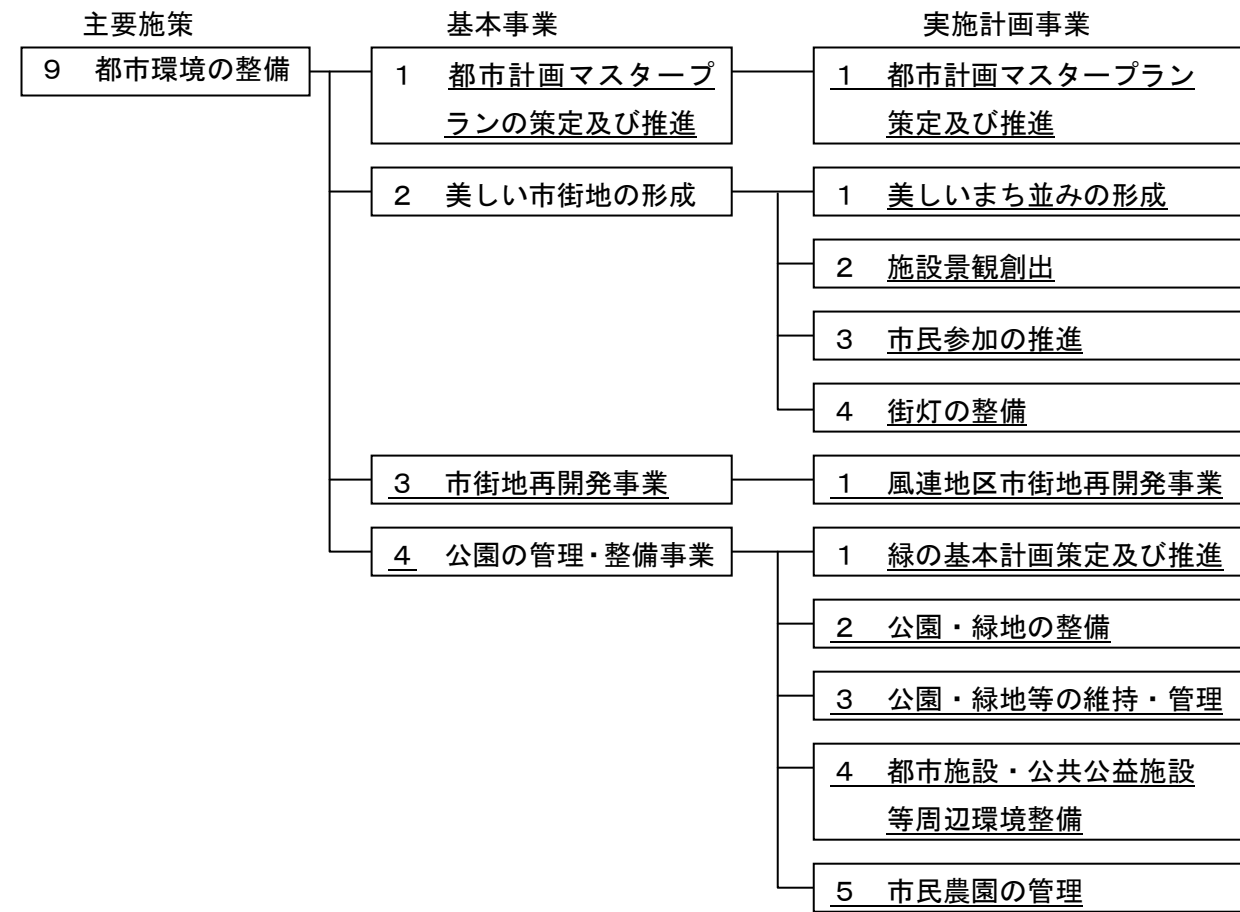
- ◆風連・名寄地区の市街地は、まちの成り立ちの違いなどにより異なりますが、合併から現状や課題と人口推計や各産業間の生産実態を基に、新市の将来像を示す都市計画マスタープランを策定しました。
- ◆現在の都市基盤は、近年の異常気候などによって発生している豪雨豪雪や地震などの天災被害により都市機能が寸断される可能性があるため、快適性と共に安全性を強化していく必要があります。
- ◆まちの環境整備は、農業地域は豊かな景観を保持し、商工業地域や住宅地にはやすらぎをもたらす緑化の推進や街路照明灯の設置など、適正な維持管理をしていく必要があります。しかし、植樹には落ち葉処理や除雪障害の問題もあり植栽の可否や樹種の選定など賛否が分かれています。
- ◆まち並みの形成は、都市施設や緑地などを適正に配置した整備が必要になります。しかし、まち並みデザインは歴史的な環境や建築物が少なく、整備対象となる地域がない状況にあります。
- ◆宅地開発は、良好な住環境や景観を維持するため、無秩序な開発をふせぎ、計画的な市街地の形成を引き続き図っていく必要があります。
- ◆現在の市街地は、高度経済成長において発展したときにつくられたもので、まち全体としては活力を維持していますが、建築物の老朽化や人口の減少により空地化しているなど、市街地は停滞又は衰退している状況にあります。とくに、モータリゼーションの進展、大型店への購買力の流失や集客力の低下から中心市街地の空洞化が進み衰退している状況にあります。
- ◆都市公園や街区公園は、遊具や柵などに老朽化が見受けられます。また、公園は指定管理者制度や委託契約にて維持管理しており、引き続き町内会等に協力が必要な状況にあります。

〔施策の基本的な考え方〕

- ◆都市としての持続的な発展や成長を形成するため、都市計画マスタープランに基づいた計画的に事業を推進し、住む人にも訪れる人にも快適で魅力のあるまちを創出していきます。
- ◆日常生活に癒しと潤いが感じられるような環境をつくるため、まち並み・景観を誘導したり、自然景観・文化的な景観の保全を推進するなど、個性的で美しい市街地の形成を進めていきます。
- ◆人々が集い楽しめる中心市街地を形成するため、複合交流街区の誘導を図り、賑わい拠点にふさわしいまち並み形成と、商業、健康の管理と増進、文化、交流、居住などの多様な機能を集積した中心性や求心性の高い施設計画を進めていきます。
- ◆人々が賑わい、交流の場となるような公園にするため、公園長寿命化計画に基づき計画的な再整備を行います。維持管理については、民間企業や社会福祉事業団体への委託を促進するとともに、町内会等との協働を推進していきます。
- ◆安全かつ良好で住みやすい都市を築くため、既成市街地における防災対策や耐震化の向上による災害に強いまちづくりを進めていきます。

【前期計画】

〔施策の体系〕



〔基本事業〕

1 都市計画マスタープランの策定及び推進

◎風連地区は1次産業、名寄地区は2次・3次産業を中心に都市を形成していることから、それぞれの地区の成り立ちを考慮するとともに、人口推計・農林業の長期計画など多方面から検討を行い、未来に続く都市計画を策定します。

2 美しい市街地の形成

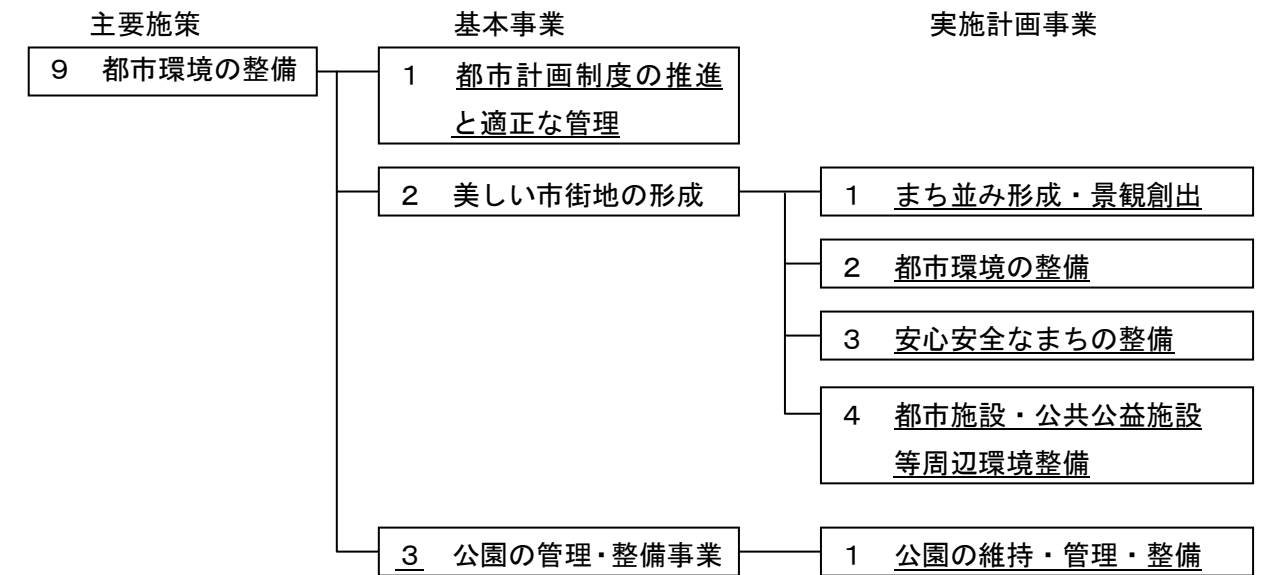
◎美しい都市景観をつくり、うるおいのあるまちづくりのために、まち並み整備や地域ごとのデザイン、色調などを地域の総意と協力で進めます。さらに、緑を育てる意識づくりのもと、公共用地や民有地、企業敷地など市民との協働で景観づくりを進めます。また、公共用地のあり方について市民とともに検討し、有効な利活用を図ります。

◎違法な広告や看板は規制し、道路標識など適正な設置を行い、わかりやすい施設表示と景観創出を図ります。

◎住宅地の形成による、必要な箇所への街灯整備を行います。

【後期計画】

〔施策の体系〕



〔基本事業〕

1 都市計画制度の推進と適正な管理

◎未来に続くまちづくりを進めるため、都市づくりの基本理念、将来の都市構造、土地利用、都市施設、緑の保存や都市交通などについて都市計画マスタープランとの整合を図り、市民との協働によりまちを作っていきます。

2 美しい市街地の形成

◎美しいまち並みをつくり、潤いのある生活空間のため、景観整備や地域ごとのデザイン、色調などを地域の総意と協力で進めていきます。さらに、まちを育てる意識づくりのため、公共用地や民有地・企業敷地など市民との協働でその地域にあった景観づくりを進めていきます。

◎安心安全なまちとするため、都市施設などの維持や整備を進めていきます。さらに、強い都市基盤をつくるため、個人の住宅や公的施設の耐震化や避難施設となる公園等の整備を支援していきます。また、清らかな住環境をつくるため、違法な広告や看板は規制し、道路標識など適正に設置をしていくとともに街路への街路灯整備を引き続き実施していきます。

【 前 期 計 画 】

3 市街地再開発事業

◎市街地再開発事業により、中心市街地の衰退を抑止し、活気と賑わいのあるコンパクトな市街地を形成し、活性化を図ります。

4 公園の管理・整備事業

◎うるおいのある社会づくりに向けた、緑の基本計画を策定します。

◎既設公園の再整備を計画的に推進し、質の向上を目指します。街区公園の維持においては、町内会等との協働による「里親制度」などの管理体制の導入を検討し、より一層地域への定着感を醸成します。

〔主な計画事業〕

<前期>

- 都市計画マスタープランの策定
- 風連地区第1種市街地再開発事業（国土交通省所管）
- 名寄公園整備事業（園路改修・観賞池の水質浄化）
- 浅江島公園整備事業（トイレ新設）

<前期・後期>

- 緑化木維持管理事業（名寄）
- 国道40号ボランティアサポートプログラム（風連）
- 街路灯の新設・管理
- 街区公園リニューアル（まちづくり交付金）
- 公園・広場・緑地・市民農園の維持管理

<後期>

- 緑の基本計画策定

【 後 期 計 画 】

◎都市の環境を魅力あるものにするため、緑の保全と環境負荷の軽減による自然的環境の保持や、心地よさ・快適性といった住みやすさを作る創出的環境の整備により都市に新しい価値を加えていきます。

◎市民生活を支えるため、都市施設などの整備や保全を進めていきます。また、まちの利便性向上のため、民間住宅や福祉的施設などの整備計画に市街地への誘導を働きかけ、コンパクト化を進めていきます。さらに、名寄地区中心部の賑わいや活気づくりのため、交流の拠点となる複合施設を整備していきます。

3 公園の管理・整備事業

◎地域の賑わいや環境を守るために、公園長寿命化計画に基づき既設公園の遊具更新・撤去など、地域の実情に合った整備を進めていきます。また、街区公園の維持においては、町内会等との協働による管理体制をより一層充実させていきます。

〔主な計画事業〕

- 緑化木の維持管理
- 国道40号ボランティアサポートプログラム
- 街路灯の新設及び管理
- 公園リニューアル事業
- 公園・広場・緑地の維持管理
- 市街地区の賑わいの再生と生活環境の向上

- 地籍数値情報化事業

参考) ボランティアサポートプログラム

住民グループや商店街等が「実施団体」となり、地域の歩道に設置された植樹帯等の美化や歩道の清掃などのボランティア活動に対して、市町村および北海道開発局が協力して、作業用具の貸し出し・実施団体名入りのサインボードの設置及びゴミの処理等を支援する事業です。
地域の共有財産である道路への愛着心を深めることを目的とされています。

【前期計画】

〔現状と課題〕

- ◆合併に伴い、平成35年目標で計画1日最大給水量を11,740 m³（既存10,200 m³）となる、上水道区域の統合と給水区域を拡張する変更認可を取得し、第2期拡張事業を継続しています。
- ◆給水区域の拡張に伴う給水量の増加をサンルダムの開発水量に依存して、水源水量が12,730 m³/日（既設11,220 m³）となる上水道と、智恵文八幡、智恵文中央、風連日進地区の3カ所の簡易水道があります。
- ◆将来的に安全でおいしい水道水を安定して供給するために、浄水施設の適正な管理と配水管網の拡張整備、老朽管の更新を行い、さらに水道水源の水質保全維持のために、河川の上流区域の水質汚染源（クリプトスポリジウム原虫等）の調査、監視の強化と浄水場の高度化に努めなければなりません。また、既存井戸を改修するなど、新たな水源対策を進めなければなりません。
- ◆上水道・簡易水道給水区域外の水道未普及地域の生活用水は、地下水や沢水で賄われており、近年は水質悪化、水量不足、エキノコックス症などが危惧されているため、普及対策が課題となっています。

上水道・簡易水道の整備状況 平成18年3月31日現在

	行政区域内 人口 (A) 人	上水道給水 人口 (B) 人	簡易水道給水 人口 (C) 人	合計 (D=B+C) 人	年間総配水量 (E=B+C) m ³	普及率 (D/A×100) %
名寄地区	26,049 (25,726)	23,681 2,555,474 m ³	287 29,458 m ³	23,968	2,584,932	92.01 (93.17)
風連地区	5,163 (4,626)	4,125 412,843 m ³	159 15,766 m ³	4,284	428,609	82.98 (92.61)
合計	31,212 (30,352)	27,806 2,968,317 m ³	446 45,224 m ³	28,252	3,013,541	90.52 (93.08)

※（ ）は給水地区内人口

※（ ）は給水地区普及率

〔施策の基本的な考え方〕

- ◆水道未普及地域の解消を目指すとともに、安定した水道水の供給を行います。
- ◆今後も、安全でおいしい飲料水を提供するとともに、健全経営を維持するために、有収率の向上に努めます。
- ◆震災等の災害時に迅速に対応できるよう、耐震性に優れた水道施設整備と配水管台帳を整備し、防災体制の確立を図ると共に、公共福祉の増進に寄与します。

【後期計画】

〔現状と課題〕

- ◆上水道事業は、合併に伴い平成35年目標で計画1日最大給水量を11,740 m³（既存10,200 m³）となる、上水道区域の統合と給水区域を拡張する変更認可を取得し、第2期拡張事業を継続しています。
- ◆給水区域の拡張に伴う給水量の増加をサンルダムの開発水量に依存して、水源水量が12,730 m³/日（既設11,220 m³）となる上水道と、智恵文八幡、智恵文中央、風連日進地区の3カ所の簡易水道を保有していますが、将来的に安全でおいしい水道水を安定して供給するために、浄水施設の適正な管理と配水管網の拡張整備、老朽管の更新を行い、さらに水道水源の水質保全維持のために、河川の上流区域の水質汚染源（クリプトスポリジウム原虫等）の調査、監視の強化と浄水場の高度化に努めなければなりません。また、既存井戸を改修するなど、新たな水源対策を進めなければなりません。
- ◆上水道・簡易水道給水区域外の水道未普及地域の生活用水は、地下水や沢水で賄われており、近年は水質悪化、水量不足、エキノコックス症などが危惧されているため、普及対策が課題となっています。

上水道・簡易水道の整備状況 平成23年3月31日現在

	行政区域内 人口 (A) 人	上水道給水 人口 (B) 人	簡易水道給水 人口 (C) 人	合計 (D)=(B+C) 人	年間総配水量 (E)=(B+C) m ³	普及率 (D/A×100) %
名寄地区	25,537 (24,889)	23,184 2,381,344 m ³	262 31,548 m ³	23,446	2,412,892	91.81 (94.20)
風連地区	4,634 (4,031)	3,782 368,991 m ³	125 15,315 m ³	3,907	384,306	84.31 (96.92)
合計	30,171 (28,920)	26,966 2,750,335 m ³	387 46,863 m ³	27,353	2,797,198	90.66 (94.58)

※（ ）は給水地区内人口

※下段は配水量

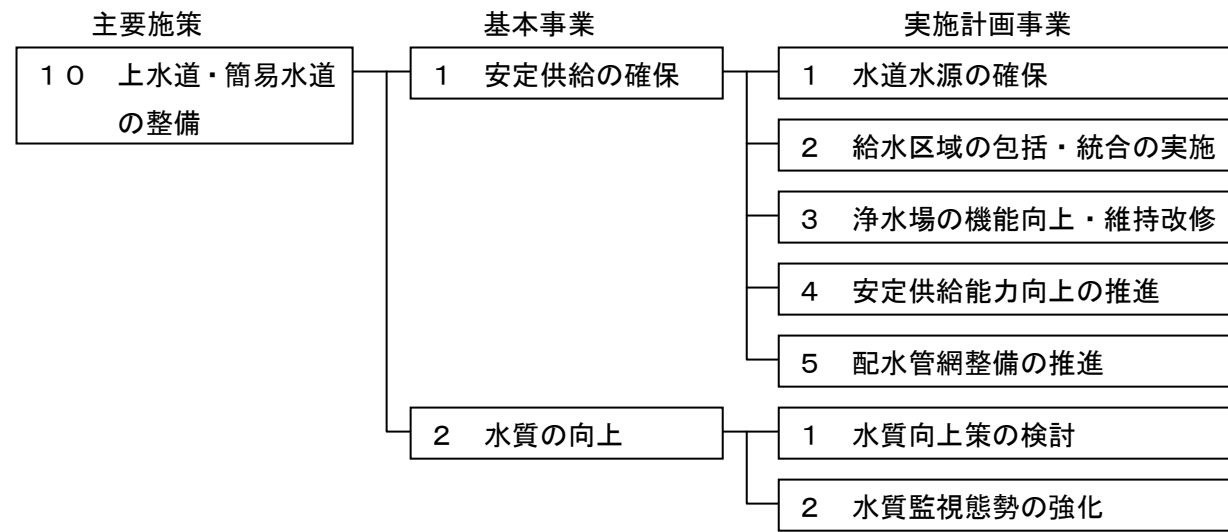
※（ ）は給水地区普及率

〔施策の基本的な考え方〕

- ◆水道未普及地域の解消を目指すとともに、安定した水道水の供給を行い安全でおいしい水道水を提供するとともに、健全経営を維持するために、有収率の向上に努めます。
- ◆震災等の災害時にも対応できるよう、耐震性に優れた水道施設を整備し、防災体制の確立を図ると共に、ライフラインとしての機能の向上を推進します。

【 前 期 計 画 】

〔施策の体系〕



〔基本事業〕

1 安定供給の確保

◎給水区域の包括・統合による拡張及び水利用形態の多様化による水量の増加に伴い、長期安定供給できる水源の確保と包括統合による送水管の新設に取り組むとともに、引き続き上水道給水区域内の老朽管の更新と配水管網の拡張を図ります。

2 水質の向上

◎安全でおいしい水道水を供給するためには、水質の保全維持が重要であり、新市の上水道は、一部の地下水と河川の表流水を水源にしていることから、取水施設改修整備と水質汚染源の調査・監視の強化に努めます。

〔主な計画事業〕

<前期>

■飲料水供給施設改良事業

<前期・後期>

■水源開発事業（サンルダム負担金）

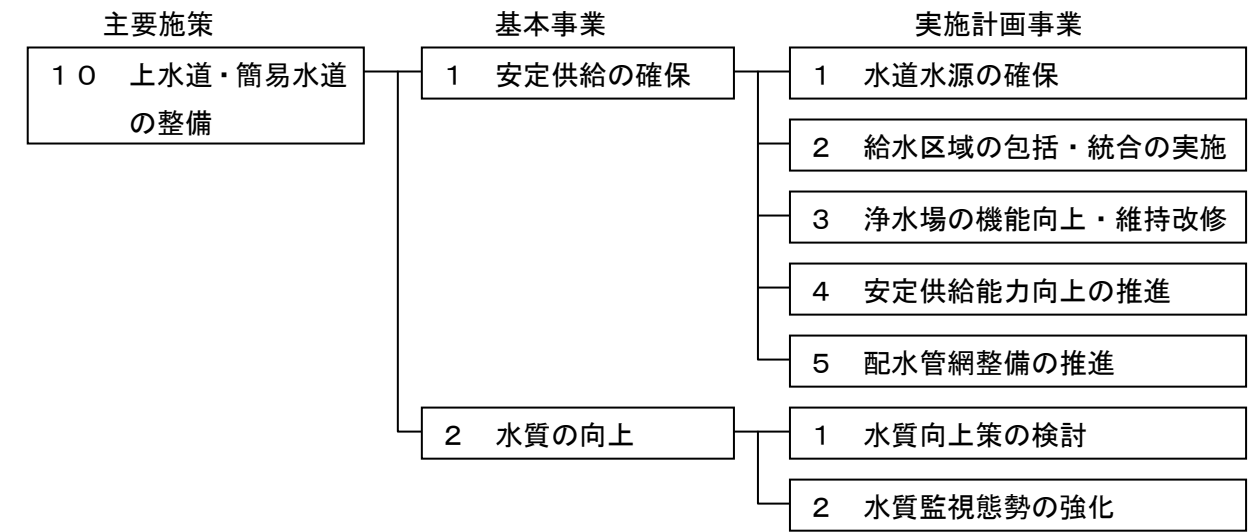
■上水道第2期拡張事業（給水区域の包括・統合地域の送水管新設整備）

■配水管網整備事業（給水区域内の配水管新設整備）

■配水管更新事業（老朽管更新）

【 後 期 計 画 】

〔施策の体系〕



〔基本事業〕

1 安定供給の確保

◎給水区域の包括・統合による拡張及び水利用形態の多様化による水量の増加に伴い、長期安定供給できる水源の確保と、包括統合による送水管の新設に取り組むとともに、引き続き上水道給水区域内の老朽管の更新と配水管網の整備を図ります。

2 水質の向上

◎安全でおいしい水道水を供給するためには、水質の保全維持が重要であり、市の上水道は一部の地下水と河川の表流水を水源にしていることから、取水施設改修整備と水質汚染源の調査・監視の強化に努めます。

〔主な計画事業〕

■水源開発事業（サンルダム負担金）

■上水道第2期拡張事業（給水区域の包括・統合地域の送水管新設整備）

■配水管網整備事業（給水区域内の配水管新設整備）

■配水管更新事業（老朽管更新）

■川西浄水場改修事業（浄水場の改修）

■簡易水道統合事業（智恵文・風連日進簡易水道を上水道に統合）

■簡易水道増補改良事業（智恵文中央簡易水道・智恵文八幡簡易水道）

■水質検査機器更新事業（水道水・原水の水質検査機器の更新）

■緑丘浄水場・取水施設改修事業（浄水施設及び頭首工の改修修繕）

【前期計画】

〔現状と課題〕

- ◆公共下水道の処理人口普及率は、現在約85%の進捗率で推移して、10人の中8.5人の方が下水道を利用しており、面積の整備率は88%で980haの整備が済んでいます。
また、昭和55年の供用開始以来稼働している名寄下水処理場の機器については、長い年月が経過しているため老朽化がかなり進んでいる状態です。なお、風連浄水管理センターは平成9年供用開始であり現在順調に稼働しています。
- ◆個別排水処理施設整備事業(合併浄化槽)については、郊外、農村地区の353戸で合併浄化槽の供用を開始しています。
- ◆現在の処理場の施設では、機器更新事業の適切な年次計画と効率的な維持管理が課題です。
- ◆今後の個別排水事業については、農業事情等により農業者が年々減少している状況で、事業の継続が課題です。

下水道・個別排水の整備状況 平成18年3月31日現在

区分	行政区域内人口 (A) 人	公共下水道 人	合併浄化槽 人	合計 (B) 人	普及率 B/A×100%
名寄地区	26,049	23,641 90.8%	1,457 198基	25,098	96.35
風連地区	5,163	2,767 53.6%	653 155基	3,420	66.24
合計	31,212	26,408 84.6%	2,110 353基	28,518	91.37

※合併浄化槽1,457人の中には自衛隊駐屯地671人を含んでいる。

〔施策の基本的な考え方〕

公共下水道・個別排水処理施設整備事業などの継続事業の積極的な推進に努め、生活排水施設の総合的な整備と清潔で快適な生活環境の保全対策を進めます。

【後期計画】

〔現状と課題〕

- ◆公共下水道の処理人口普及率は、現在約85%の進捗率で推移しており、面積の整備率は89%で990haの整備が済んでいます。
また、昭和55年の供用開始以来稼働している名寄下水処理場の機器については、老朽化が進んでいる状況にあるため、持続可能な下水道として機器更新事業の適切な年次計画と効率的な維持管理が課題です。
なお、風連浄水管理センターは平成9年の供用開始であり、現在順調に稼働しています。
- ◆個別排水処理施設整備事業(合併浄化槽)については、郊外、農村地区の424戸で合併浄化槽の供用を開始していますが、今後農業従事者が年々減少している状況であることから、事業の継続が課題です。

下水道・個別排水の整備状況 平成23年3月31日現在

区分	行政区域内人口 (A) 人	公共下水道 人	合併浄化槽 人	合計 (B) 人	普及率 B/A×100%
名寄地区	25,537	23,379 91.5%	1,447 233基	24,826	97.21
風連地区	4,634	2,550 55.0%	680 191基	3,230	69.70
合計	30,171	25,929 85.9%	2,127 424基	28,056	92.99

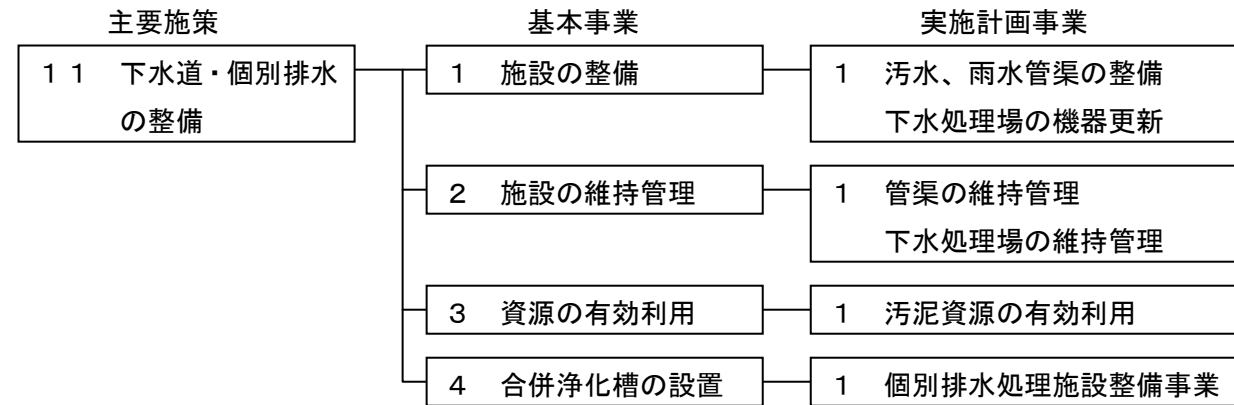
※合併浄化槽1,447人の中には自衛隊駐屯地572人を含んでいる。

〔施策の基本的な考え方〕

公共下水道・個別排水処理施設整備事業などの継続事業を積極的に推進することに努め、生活排水施設の総合的な整備を行うことで、清潔で快適な生活環境の保全対策を進めます。

【前期計画】

〔施策の体系〕



〔基本事業〕

1 施設の整備

◎生活環境の改善を目標として、恒久的な公共下水道事業の推進と、統合による下水道区域の見直しを検討し、整備を図ります。また、浸水対策や水環境の保全のために合流改善事業を推進するとともに、処理場施設の機器更新を計画的に実施します。

2 施設の維持管理

◎計画を策定し、効率的な維持管理を行うとともに、健全経営を目指します。

3 資源の有効利用

◎汚泥資源の利活用の検討を図ります。

4 合併浄化槽の設置

◎個別排水処理施設整備については、継続事業の積極的な推進と快適な生活環境の保持に努めます。

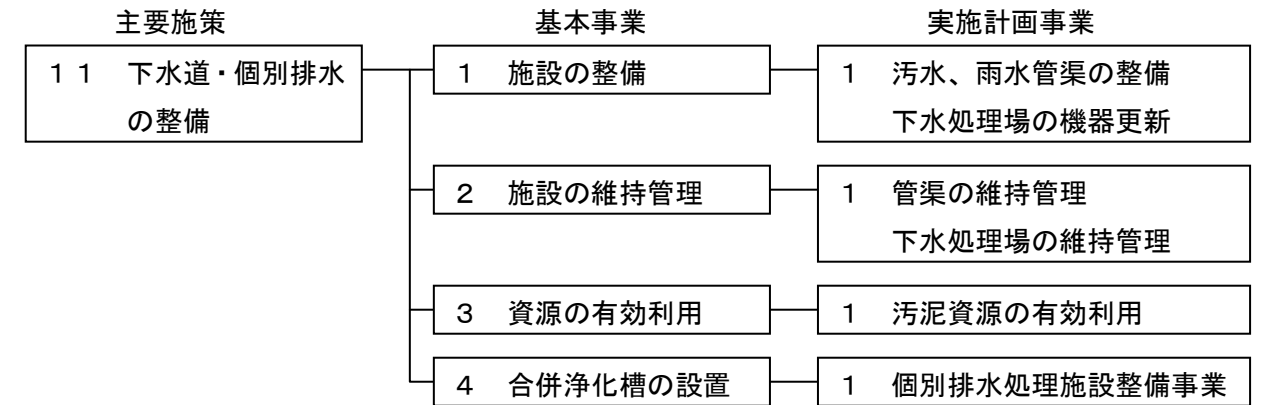
〔主な計画事業〕

＜前期・後期＞

- 公共下水道事業（公共下水道・水質改善下水道・機能高度化下水道・浸水対策下水道）
- 個別排水処理施設整備事業（合併浄化槽の整備）

【後期計画】

〔施策の体系〕



〔基本事業〕

1 施設の整備

◎生活環境の改善を目標として、恒久的な公共下水道事業の推進と、統合による下水道区域の見直しを検討し、整備を図ります。また、浸水対策や水環境の保全のために合流改善事業を推進するとともに、持続可能な下水道を目指し、処理施設の機器更新を計画的に実施します。

2 施設の維持管理

◎計画を策定し、効率的な維持管理を行うとともに、健全経営を目指します。

3 資源の有効利用

◎汚泥資源の利活用の検討を図ります。

4 合併浄化槽の設置

◎個別排水処理施設整備については、継続事業の積極的な推進と快適な生活環境の保持に努めます。

〔主な計画事業〕

- 公共下水道事業（※1 未普及解消・※2 水質保全・※3 資源循環形成・※4 浸水対策・※5 地震対策）
- 個別排水処理施設整備事業（合併浄化槽の整備）
- 処理場の主要機器整備修繕事業（大型主要機器の整備修繕）

※1 未普及解消 : 汚水管渠整備

※2 水質保全 : 処理場の水処理施設機器更新・長寿命化計画

※3 資源循環形成 : 処理場の汚泥処理施設機器更新・長寿命化計画

※4 浸水対策 : 雨水管渠整備

※5 地震対策 : 管渠更新・長寿命化計画

【前期計画】

〔現状と課題〕

- ◆市内にある国道40号・239号は、歩道の一部再整備が必要な箇所を除いてほぼ整備済となっています。
- ◆道道にあつては、美深名寄線に歩道未整備区間はありますが、ほぼ整備されています。しかし、朱鞠内風連線の歩道改修が必要となっており、さらにパンケ風連線では歩道が未整備となっていることから、必要な整備について引続き要請を行います。
- ◆道路整備改良率は、平均して66%の水準にありますが、整備率では名寄地区約63%、風連地区約82%となっており、平均した整備水準を確保するため各種補助制度を活用し、計画的に整備を進める必要があります。
- ◆砂利道・防塵処理道路を道路改良整備と連携を持ち補修を進めるとともに、年次計画により維持管理車両の更新を行うほか、道路の適切な維持管理と道路利用者の交通安全と道路環境の保全に努めます。
- ◆道路の維持管理と併せて、橋梁の適切な維持管理に努めます。

市街地内道路整備状況 (上段：延長、下段：構成率)

区分	舗装済延長		未改良延長 (砂利・防塵処理)	市街地内 道路延長合計
	本舗装	簡易舗装		
名寄地区	81.7km	23.5km	47.3km	129.0km
	63.33%	18.22%	36.67%	100.0%
風連地区	18.4km	16.2km	3.9km	22.3km
	82.51%	72.65%	17.49%	100.0%
合計	100.1km	39.7km	51.2km	151.3km
	66.16%	26.24%	33.84%	100.0%

(平成17年度現在)

〔施策の基本的な考え方〕

- ◆国道・道道の継続箇所の改良整備の促進や公共施設整備に併せて必要な要望・要請を継続します。
- ◆地域間ネットワーク道路整備と併行して、生活道路など市街地内道路舗装率の10%向上を目標に整備を進めます。

【後期計画】

〔現状と課題〕

- ◆市内にある国道40号・239号は、歩道の一部再整備が必要な箇所を除いてほぼ整備済となっています。
- ◆道道にあつては、美深名寄線、下川風連線、パンケ風連線に歩道未整備区間があり、旭名寄線の改修要望等の必要な整備について引続き要請を行います。
- ◆市道の舗装率は、平成23年度に於いて約68%の水準にありますが、名寄地区約65%、風連地区約86%となっており、平均した整備水準を確保するため各種補助制度を活用し、計画的に整備を進める必要があります。
- ◆道路維持は、砂利道・防塵処理道路を中心に補修を進めておりますが、道路利用者の安心と安全及び道路環境保全のために、老朽化した建設維持管理用車両の更新を行います。

市街地内道路整備状況 (上段：延長、下段：構成率)

区分	舗装済延長		未舗装延長 (砂利・防塵処理)	市街地内 道路延長合計
	本舗装	簡易舗装		
名寄地区	81.7km	23.5km	47.3km	129.0km
	63.33%	18.22%	36.67%	100.0%
風連地区	18.4km	3.9km	3.9km	22.3km
	82.51%	17.49%	17.49%	100.0%
合計	100.1km	27.4km	51.2km	151.3km
	66.16%	18.11%	33.84%	100.0%

(平成17年度現在)

〔施策の基本的な考え方〕

- ◆国道・道道は、道路整備の促進や公共施設整備に併せて必要な要望・要請を継続します。
- ◆生活道路など市街地内道路舗装率について前期計画での進捗率が当初計画より遅れておりますが、市民からの道路整備に対する不満度が高いことから、今後10年も10%の舗装率向上を見据え、後期計画に於いて5%向上の整備を進めます。

市街地内道路整備状況(前期計画見込み) (上段：延長、下段：構成率)

区分	舗装済延長		未舗装延長 (砂利・防塵処理)	市街地内 道路延長合計
	本舗装	簡易舗装		
名寄地区	85.1km	25.6km	45.2km	130.3km
	65.31%	19.65%	34.69%	100.0%
風連地区	19.3km	4.5km	3.1km	22.4km
	86.16%	20.09%	13.84%	100.0%
合計	104.4km	30.1km	48.3km	152.7km
	68.37%	19.71%	31.63%	100.0%

(平成23年度)

【 前 期 計 画 】

市街地内道路整備計画（平成19年度～平成28年度）（上段：延長、下段：構成率）

区 分	舗 装 済 延 長			未改良延長 (砂利・防塵処理)	市街地内 道路延長合計
	本舗装	簡易舗装			
名寄地区	95.7km 74.19%	41.5km 32.17%	54.2km 42.00%	33.3km 25.81%	129.0km 100.0%
風連地区	19.4km 87.00%	17.2km 77.13%	2.2km 9.78%	2.9km 13.00%	22.3km 100.0%
合 計	115.1km 76.07%	58.7km 38.80%	56.4km 37.27%	36.2km 23.93%	151.3km 100.0%

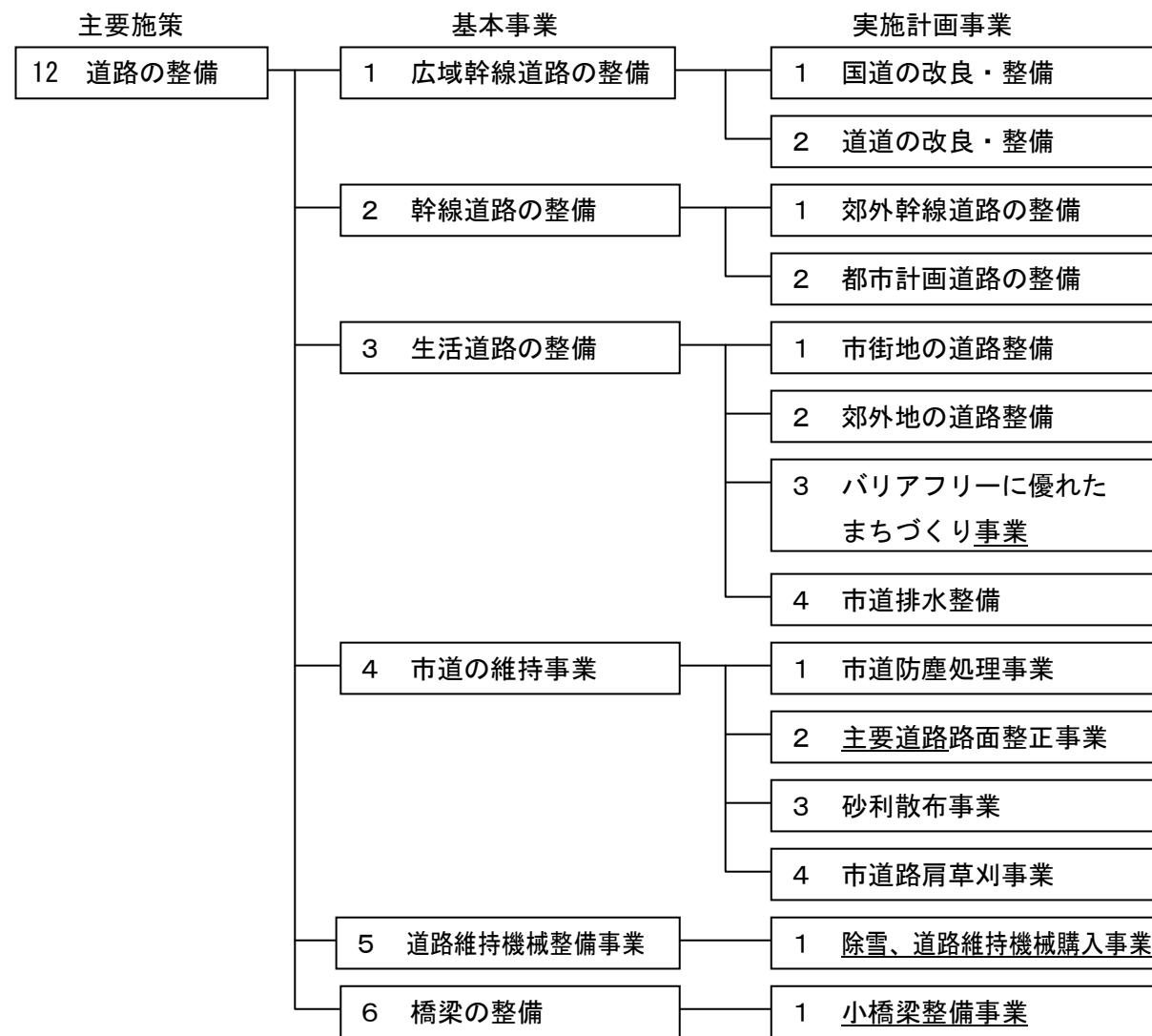
【 後 期 計 画 】

市街地内道路整備計画（平成19年度～平成28年度）（上段：延長、下段：構成率）

区 分	舗 装 済 延 長			未舗装延長 (砂利・防塵処理)	市街地内 道路延長合計
	本舗装	簡易舗装			
名寄地区	92.6km 71.07%	33.1km 25.40%	59.5km 45.66%	37.7km 28.93%	130.3km 100.0%
風連地区	19.3km 86.16%	5.0km 22.32%	14.3km 63.84%	3.1km 13.84%	22.4km 100.0%
合 計	111.9km 73.28%	38.1km 24.95%	73.8km 48.33%	40.8km 26.72%	152.7km 100.0%

【前期計画】

〔施策の体系〕



〔基本事業〕

1 広域幹線道路の整備

◎広域幹線道路の整備は、「国道 239 号のバイパス整備」をはじめ、各国道の歩道整備などの維持事業を中心に整備促進を要望します。道道については、「瑞生橋歩道橋」、「天智橋の架換事業」や「旭名寄線跨線橋補修事業」など改良・歩道設置・維持事業を要望していきます。

2 幹線道路の整備

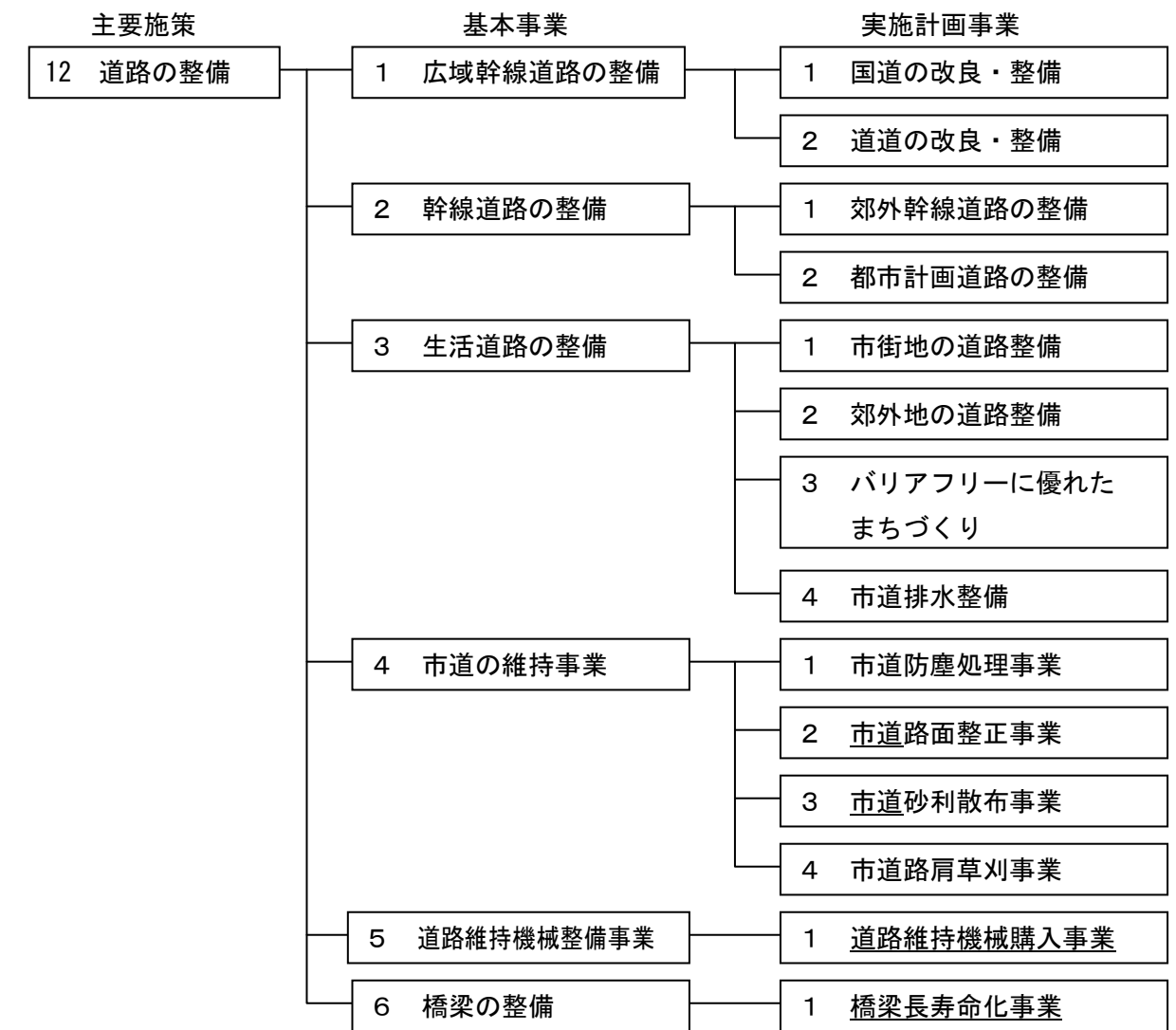
◎市民生活に密接に関わる幹線道路は、公共公益施設・市立病院・各種学校との連絡に重要な路線と位置づけ、安心して歩くことができる環境や各施設間の連絡時間の短縮効果などを考慮して計画的に整備します。

3 生活道路の整備

◎幹線道路に連絡する生活道路の整備についても、幹線道路と効果的に連絡することなどを考慮し、計画的に整備します。

【後期計画】

〔施策の体系〕



〔基本事業〕

1 広域幹線道路の整備

◎「国道 239 号のバイパス整備」をはじめ、各国道の歩道整備などの維持事業を中心に整備促進を要望します。道道については、「美深名寄線（天智橋）」や「旭名寄線」などの改良・歩道設置・維持事業を要望していきます。

2 幹線道路の整備

◎公共公益施設・市立病院・各種学校との連絡に重要な路線と位置づけ、安心して歩くことができる環境や各施設間の連絡時間の短縮効果などを考慮して計画的に整備します。

3 生活道路の整備

◎道路網が幹線道路と効果的に連絡することを考慮し、計画的に整備を行います。また、道路排水整備についても整備します。

【前期計画】

4 市道の維持事業

◎改良舗装済市道の適切な維持と、未改良道路が改良舗装されるまでの間の維持補修に努め、快適な市民生活を送ることができるよう、必要な維持工事などを進めます。また、市民の理解と協力を得ながら道路愛護事業の取り組みを推進し、道路の環境保全に努めます。

5 道路維持機械整備事業

◎道路維持や冬期間の除雪に欠くことのできない大型建設機械をはじめとする各種車両の適切な修繕を進めるとともに、補助制度などを活用して年次的に車両更新を行います。

6 橋梁の整備

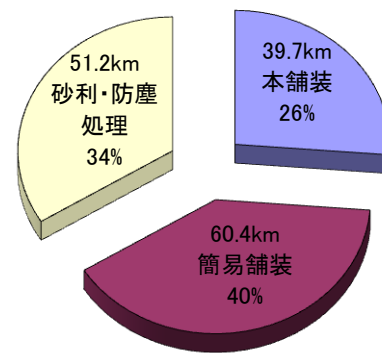
◎中小橋の鋼製の桁・欄干を点検し、塗装などの補修並びに木橋の改築を行います。

〔主な計画事業〕

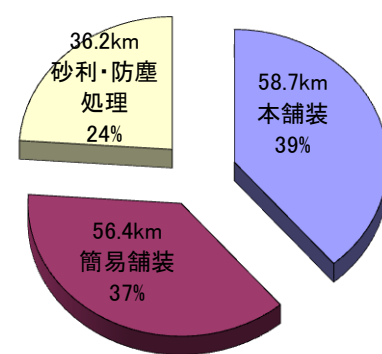
<前期・後期>

- 郊外幹線道路の整備
 - 都市計画道路の整備
 - 市街地の道路整備（生活道路）
 - 郊外地の道路整備（生活道路）
 - バリアフリーに優れたまちづくり事業
 - 排水整備事業
 - 道路維持機械購入事業
 - 道路防塵処理事業
 - 道路路面整正事業
 - 砂利散布事業
 - 路肩草刈事業
- <後期>
- 小橋梁の整備

平成17年度市道舗装率



市道整備計画(平成28年度)



【後期計画】

4 市道の維持事業

◎舗装済道路の適切な維持と、未舗装道路が整備されるまでの間の維持補修に努め、快適な市民生活を送ることができるよう、必要な維持工事などを進めます。また、市民と協働による道路愛護事業の取り組みを推進し、道路の環境保全に努めます。

5 道路維持機械整備事業

◎道路維持の大型建設機械をはじめとする各種車両の適切な修繕を進めるとともに、補助制度などを活用して年次的に車両更新を行います。

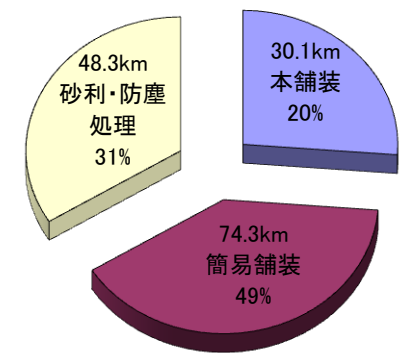
6 橋梁の整備

◎橋梁長寿命化計画を策定し、耐震補強や補修・修繕などを適期・適切に実施し社会資本の維持延命を図ります。

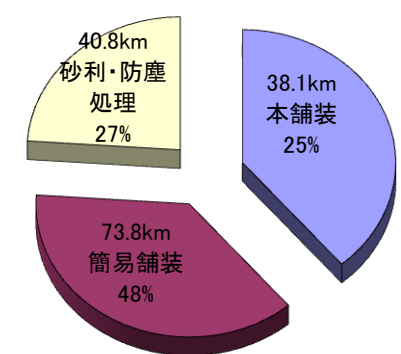
〔主な計画事業〕

- 郊外幹線道路の整備
- 都市計画道路の整備
- 市街地の道路整備（生活道路）
- 郊外地の道路整備（生活道路）
- バリアフリーに優れたまちづくり
- 市道排水整備
- 道路維持機械購入事業
- 市道防塵処理事業
- 市道路面整正事業
- 市道砂利散布事業
- 市道路肩草刈事業
- 橋梁長寿命化事業

平成23年度市道舗装率



市道整備計画(平成28年度)



【前期計画】

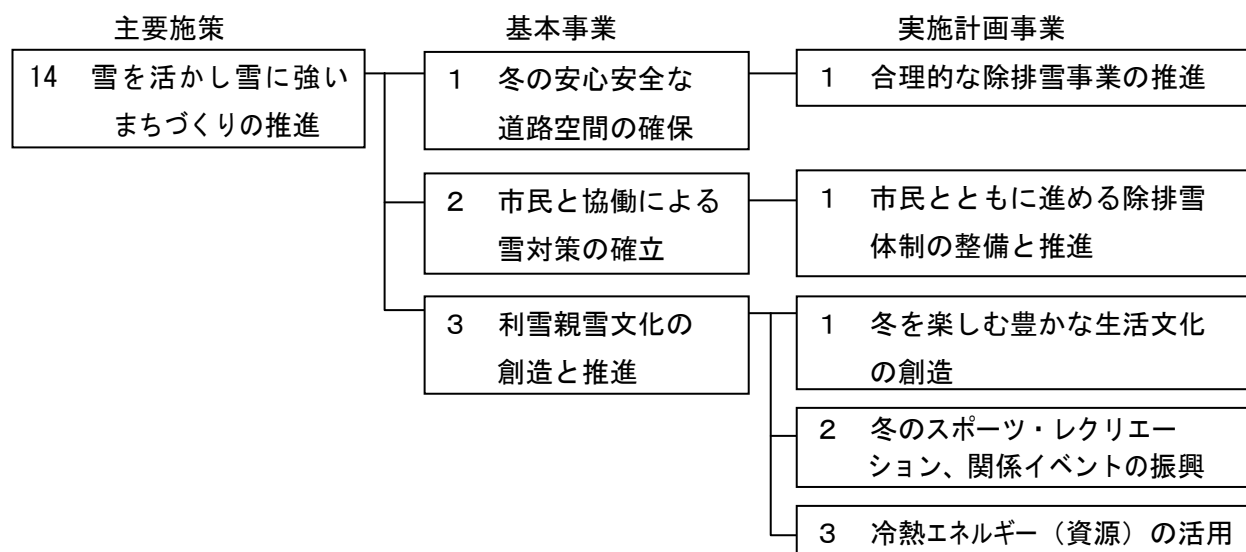
〔現状と課題〕

- ◆雪国にとって除排雪は、冬期間の快適な生活環境を確保するうえで重要な課題の一つとなっております。近年は高齢化が進み、より一層のきめ細かな除排雪が求められており、効率的・効果的な除排雪体制のあり方が問われています。
- ◆本市は全道の中でも降雪量が多い地域であり、積雪や凍結により市民生活に大きな影響を与えているほか、産業活動を阻害する大きな要因となっています。快適で安全な冬の環境づくりを進めるために、凍結道路の安全対策、交差点の除排雪の充実が必要であり、市民の理解と協力を得ながら除排雪体制の確立を図っていくことが求められています。
- ◆旧名寄市の「名寄の冬を楽しく暮らす条例」の理念を継承した「利雪・親雪推進市民委員会」からの提言を受け、「冬をさらに親しみ」「冬をもっと楽しむ暮らしづくり」と「より快適な冬の生活環境づくり」を達成するため「名寄の冬を楽しく暮らす条例」を新たに制定しました。また、近年、雪や寒さに対しての市民の考えは変わってきており、雪や寒さを活用することや、雪と親しみながらまちづくりを進めることが求められています。

〔施策の基本的な考え方〕

- ◆除排雪機械を計画的に更新するとともに、除排雪に際しては、地域の路線に合った機械配置と雪捨場の確保により作業の効率化を図ります。
- ◆市民の協力のもと堆雪スペースの確保を図ります。
- ◆市民との連携・協力で総合的な除排雪体制を確立し、除排雪水準の向上に努めます。
- ◆冬の自然条件を活かし、名寄らしい北の文化の創造に努めます。
- ◆誰でも雪と寒さに親しめる冬のスポーツやイベントを開催し、魅力あるまちづくりを目指します。
- ◆雪や寒さを利用した冷熱エネルギーの活用を促進します。

〔施策の体系〕



【後期計画】

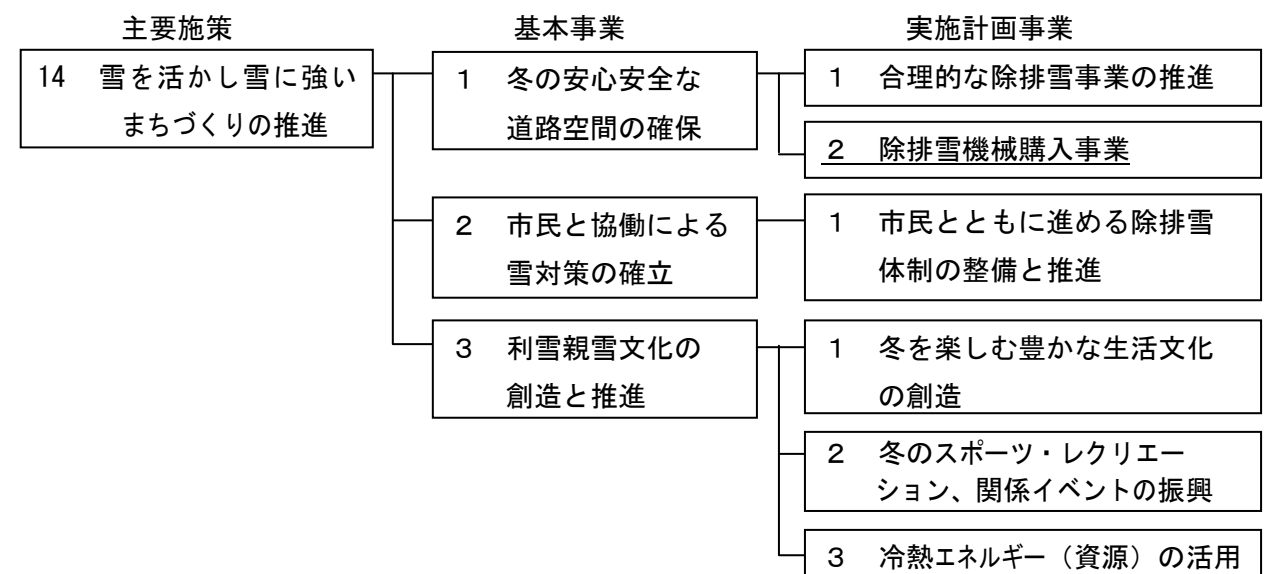
〔現状と課題〕

- ◆雪国にとって除排雪は、冬期間の快適な生活環境を確保するうえで重要な課題の一つとなっております。近年は高齢化が進み、より一層のきめ細かな除排雪が求められており、効率的・効果的な除排雪体制のあり方が問われています。
- ◆本市は全道の中でも降雪量が多い地域であり、積雪や凍結により市民生活に大きな影響を与えているほか、産業活動を阻害する大きな要因となっています。快適で安全な冬の環境づくりを進めるために、凍結道路の安全対策、交差点の除排雪の充実が必要であり、市民の理解と協力を得ながら除排雪体制の確立を図っていくことが求められています。
- ◆利雪親雪は、旧名寄市の「名寄の冬を楽しく暮らす条例」の理念を継承した「利雪・親雪推進市民委員会」からの提言を受け、「冬をさらに親しみ」「冬をもっと楽しむ暮らしづくり」と「より快適な冬の生活環境づくり」を達成するため「名寄の冬を楽しく暮らす条例」を新たに制定しました。また、近年、雪や寒さに対しての市民の考えは変わってきており、雪や寒さを活用することや、雪と親しみながらまちづくりを進めることが求められています。

〔施策の基本的な考え方〕

- ◆除排雪事業は、除排雪用大型機械を計画的に更新するとともに、除排雪に際しては、地域の路線に合った機械配置と雪捨場の確保により作業の効率化を図ります。
- ◆住宅周りなど身近な除排雪は、市民との協働で総合的な除排雪体制を確立すると共に、除排雪助成事業の推進に努めます。
- ◆冬の自然条件を活かし、名寄らしい北の文化の創造に努めます。
- ◆誰でも雪と寒さに親しめる冬のスポーツやイベントを開催し、魅力あるまちづくりを目指します。
- ◆雪や寒さを利用した冷熱エネルギーの活用を促進します。

〔施策の体系〕



【 前 期 計 画 】

〔基本事業〕

1 冬の安心安全な道路空間の確保

◎冬期間の安全な道路環境と快適な生活の確保のため、合理的な除排雪事業を推進するとともに、市民と行政の連携・協力を推進し除排雪水準の向上に努めます。

2 市民と協働による雪対策の確立

◎総合的な除排雪体制は、市民の理解を得て行政が行う除排雪と地域・市民負担で行う除排雪を区分し、市民とともに総合的な除排雪体制を確立していきます。

◎除雪に伴う路側への堆雪や雪捨場の確保には、市民の理解と協力が得られるよう努めます。

3 利雪親雪文化の創造と推進

◎個性的で魅力ある文化や芸術活動が根付くよう努めるとともに、北国の冬の衣・食・住の知恵と地域の素材を活かして名寄らしい北の暮らしの推進を図るとともに、健康の森や道立公園をはじめとした施設を活用し、雪と寒さに親しめ魅力あるイベントの開催を図ります。

◎また、雪を活用した農産物貯蔵施設の運用を通して、冷熱エネルギーの活用と研究を図り、さらに雪や寒さを活用した産業の育成を図ります。

〔主な計画事業〕

<前期・後期>

■市道除雪事業

■市道排雪事業（カット排雪）

■除排雪助成事業（排雪ダンプ助成・市道及び私道除排雪助成）

■名寄市ホワイトマスターの推奨

【 後 期 計 画 】

〔基本事業〕

1 冬の安心安全な道路空間の確保

◎合理的な除排雪事業を推進するとともに、市民と行政の連携・協力を推進し除排雪水準の向上に努めます。

2 市民と協働による雪対策の確立

◎市民の理解を得て行政が行う除排雪と地域・市民負担で行う除排雪を区分し、市民とともに総合的な除排雪体制を確立していきます。

3 利雪親雪文化の創造と推進

◎個性的で魅力ある文化や芸術活動が根付くよう努めるとともに、北国の冬の衣・食・住の知恵と地域の素材を活かして名寄らしい北の暮らしの推進を図るとともに、健康の森や道立公園をはじめとした施設を活用し、雪と寒さに親しめ魅力あるイベントの開催を図ります。

◎また、雪を活用した農産物貯蔵施設の運用を通して、冷熱エネルギーの活用と研究を図り、さらに雪や寒さを活用した産業の育成を図ります。

〔主な計画事業〕

■市道除雪事業

■市道排雪事業（カット排雪）

■道路除排雪事業（排雪ダンプ助成・市道及び私道除排雪助成・風連市街地区国道及び道道排雪助成）

■名寄市ホワイトマスターの推奨

■除排雪機械購入事業

Ⅲ 自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり

主要施策名	後期事業名 【 】は前期事業名	内容	新規 継続	担当課
防災対策の充実	普通河川の維持整備事業	普通河川の立木伐採及び土砂堆積処理	継続	土木課
住宅の整備	瑞生団地建替関連事業	瑞生団地建替	新規	都市建築課
	北斗・新北斗団地建替事業	北斗建替、新北斗改善	継続	都市建築課
	既存公営住宅改善事業	既設公営住宅の維持保全	継続	都市建築課
	住宅マスタープランの見直し	住宅マスタープランの見直し	継続	都市建築課
	木造住宅の耐震改修等補助事業	耐震診断・耐震改修工事補助	継続	都市建築課
都市環境の整備	地籍数値情報化事業	地籍成果データの数値化	新規	管理課
	公園長寿命化修繕計画策定事業	遊具更新、公園維持管理31公園	継続	土木課
上水道・簡易水道の整備	水源開発事業(サンルダム負担金)	サンルダム建設事業費	継続	上下水道室
	上水道第2期拡張事業	区域拡張、統合の配水管整備	継続	上下水道室
	配水管網整備事業	配水管網整備 L=3,325.00m	継続	上下水道室
	老朽管更新事業	配水管布設替、導水管布設替	継続	上下水道室
	緑丘浄水場・取水施設改修事業	緑丘浄水場・取水施設改修	継続	上下水道室
	水質検査機器更新事業	水質検査機器更新	継続	上下水道室
	簡易水道改修・修繕事業	簡易水道浄水場改良	新規	上下水道室
	旧簡易水道改修・修繕事業	川西浄水場改修	新規	上下水道室

Ⅲ 自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり

【都市基盤整備部会】

主要施策名	後期事業名 【 】は前期事業名	内容	新規 継続	担当課
下水道・個別排水の整備	公共下水道整備事業	機器改築更新	継続	上下水道室
	下水処理場設備機器整備事業	主要機器の整備修繕	継続	上下水道室
	個別排水処理施設整備事業	合併処理浄化槽設置 470基	継続	上下水道室
道路の整備	郊外幹線道路の整備	5路線 道路改良舗装、他 L=5,600m	継続 先送 新規	土木課
	バリアフリーに優れたまちづくり事業	市内市道車歩道改修(バリアフリー対応)	継続	土木課
	名寄演習場周辺障害防止対策事業	排水トラフ整備L=820m、L=280m	継続	土木課
	市道の排水整備事業	市道排水整備	継続	土木課
	市街地の道路整備	22路線 道路改良舗装 L=7,000m	継続 先送 新規	土木課
	都市計画道路の整備	1路線 道路改良舗装 L=550m W=8.0m+2.5m	継続 先送 新規	土木課
	橋梁長寿命化事業	橋梁点検、橋梁点検データベース化 実施計画策定及び実施 244橋	継続	土木課
	市道防塵処理事業	補修処理 L=296.290m新設処理 L=5,400m	継続	土木課
	道路維持機械購入事業	道路維持機械更新	継続	土木課
	市道路面整正事業	路面整正 L=4,568.6km	継続	土木課
市道砂利散布事業	砂利散布 V=45,662m ³	継続	土木課	
市道路肩草刈事業	路肩草刈 L=10,803km	継続	土木課	
雪を活かし雪に強いまちづくりの推進	市道除雪事業(委託)	車道・歩道除雪事業(委託)	継続	土木課

